

会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

の所管事務調査を実施しました。また、9月定例会で付託になった議案・

総務常任委員会（瀬戸口三郎委員長）
平成19年8月20日～22日に京都府綾部市・兵庫県篠山市・大阪府池田市にて所管事務調査を行いました。また、曾於市一般会計補正予算についてなど3件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案1件を全会一致で可決、陳情2件、請願1件を全会一致で採択すべきものと決定しました。

☆所管事務調査

（調査地）

京都府綾部市・兵庫県篠山市・大阪府池田市

（調査事項）

過疎地域対策事業について・地域情報通信整備事業について

（日程）

平成19年8月20日～22日

（内容）

今回地域情報通信事業について兵庫県篠山市、大阪府池田市、限界集落について京都府綾部市を調査するにあたり、曾於市内の状況等を把握するため事前調査をふまえて調査した。

綾部市は、市役所より遠く離れ、65歳以上の高



京都府綾部市での研修

齢者が60%以上いる集落5集落を、対象に「水源の里条例」を制定し、過疎対策に積極的に取り組まれ、都市との交流や定住対策、地域産業の開発、育成など、山間地ながら上流域の尊さを認識され、活き活きと生活されてきた。曾於市においても山間地対策を議論すべきと思われる。

篠山市、池田市においては、全国に先駆けて地域インターネットの整備を促進し、市民の利便性向上に取り組んでいる。篠山市は曾於市と同じくらいの面積であり、平成15年から市役所、学校など72施設を光ファイバー網で結ぶ整備がな

れ、通信業者と協力し、全市内に業者の費用で全てを整備している。池田市は、都市部であり、市民、特に子ども達の安全を目指し安心メール等都市部ならではの配慮がなされていた。

今後IT社会の中で、都市と地方の地理的デジタル・デバイトの解消に努め、急速なIT普及の中で、次世代の若者達が喜んで市内に定住されるような条件整備が求められている。経費についても業者のすべき事業については、粘り強く要望すべきであると思われる。

平成19年度曾於市一般会計補正予算(第4号) 所管分

問 弥五郎伝説の里のLPガス貯蔵室をLPGバルク貯蔵タンク方式に新設するが、ガス納入業者が設置すべきではないのか。

答 業者が設置すれば、

約20年間一業者のみが納入することになるので、納入業者の公平性から市で設置する。

設置場所については、地質調査を徹底し、安全面を充分考慮すべきとの要請もなされた。

問 消防費の追加は、大隅月野分団八合原格納庫の新築、解体工事費であるが、当初予算568万円でできないのか。

答 新しく市有地に移転建築するもので、地盤が軟弱なことによる表層改良とサイレン、ホース乾燥塔の移設費の追加である。

問 自動体外除細動器(AED)の配備と個数は。 **答** 旧3町それぞれ3基ずつの配備を考えている。

えるクレジット契約をして、市内においても深刻な消費者被害の実態があることから、消費者を守るために必要な規則が講じられるように求めて採択すべきものと決定。

陳情
南アジア核軍拡競争を防ぐため原子力供給国グループでの慎重な議論を求める陳情

世界の恒久的平和は日本にとって、南アジアの平和は不可欠であるため採択すべきものと決定。

陳情
JR不採用問題の早期解決を求める意見書の採択について

昭和62年国鉄が分割民営化され、JR各社が発足し1,074名が国鉄清算事業団に解雇され、JR不採用問題が未解決のまま現在に至っている。人道的見地に立って、速やかに現実的な問題解決を図ることから採択すべきものと決定。

請願
悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求め、意見書を政府等に提出することを求める件

顧客の支払い能力を超

委員

各常任委員会は、閉会中陳情について審査を行な

文教厚生常任委員会（渡辺利治委員長）

平成19年8月1日～3日に滋賀県大津市・福井県小浜市・兵庫県小野市にて所管事務調査を行いました。また曾於市一般会計補正予算など議案2件を全会一致で可決すべきものと決定しました。

☆所管事務調査

（調査地）

滋賀県大津市・福井県小浜市・兵庫県小野市

（調査事項）

小・中学校の学校選択制について・食育の取り組みについて・乳幼児医療費助成事業について

（日程）

平成19年8月1日～3日

（内容）

・滋賀県大津市

小・中学校の学校選択制を本市においても考えられることから大津市を調査した。現行学区制は残し新入学時前に選択を行い学年途中は認めない。通学助成費も距離により対象外となる。

・福井県小浜市

食育の取り組みについて小浜市は食のまちづく



兵庫県小野市での研修

り条例を制定し、条例に基づき食を中心に農林水産業を始め、食に関する産業の振興、環境の保全、食の安全・安心の確保、身土不二に基づく地産地消の推進、健全な食生活の実践による健康長寿社会の実現、食育の推進等の施策を総合的に推進し、市・市民・事業者の協働によるまちづくりが行われている。

学校給食は自校方式で、生産者の顔の見える心温まるものであり、本市も参考にすべきとの意見があった。

・兵庫県小野市

乳幼児等医療費助成事業について、本市は今年度から6歳までの医療費が無料化されたが、小野市は兵庫県より先に全てを取り入れ、平成18年度から小学3年生までを無料、平成19年度からは6年生までが無料となり、いずれも所得制限なしである。

若い世代の福祉施策に関する関心も高く、市の分譲地販売も良い結果が出ている。一般財源持ちだしも多いが、入札制度改革や人件費等削減にも努力されていた。

曾於市も子どもをもつ親の願いである早い時期での対象年齢拡大を望むところである。

平成19年度曾於市一般会計補正予算（第4号）所管分

問 大隅中学校通学バス運行委託事業の債務負担行為は昨年12月に上程しているが今回は。

答 早めの入札がより良い。昨年は1,890万円で落札された。

問 曾於市クリーンセンター施設修繕費は。

答 コンプレッサのオーバーホールは今回が初めてである。ケーシングも初めての修理となる。

問 入札は何社であったか。

答 3社の見積入札となった。

問 今後の修繕費は。

答 平成24年度までに約3億4,500万円かかるであろう。

問 修理期間と市民への対応は。

答 修理は1週間から10日くらい要し、2号炉を使い市民への搬入等での心配をかけることはない。

要望 委員会では耐用年数等を考慮して建て替えも想定した長期計画を作成すべきであると申し入れた。

問 地域介護福祉空間整備交付金の内容は。

答 介護予防拠点整備に係る交付金で補助率100%である。財部3カ所、末吉6カ所に特定高齢者を対象とした介護予防教室を行っており、施設の環境整備を図り、参加者を増やし介護状態になる方を減らしていくことが、教室実施中の事故を防ぐものである。

工事としては、エアコンの設置、段差解消、手すり設置、トイレ改修である。

問 小・中学校の施設修繕は。

答 今回は台風災害によるものが主なものであるが、今後も必要に応じて対処する。

問 特別支援教育支援員配置事業とは。

答 学習障害や注意欠陥多動性障害を持つ、児童生徒を対象に介助を主として10月より実施するつもりで市内6校が対象である。

要望 財部きらめきセン

ターは現在空調がガス吸収式のため高くつくので、今後の施設設置の際には、電気式への移行を考慮するようとの指摘があった。

大隅高齢者コミュニティセンターの空調の修繕は、2台のうち1台分を今回の補正で計上するのは対応が遅かった。2台のうち1台稼働したので今回補正した。

使用時期を考慮し、早めの対応をするよう申し入れた。

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

問 疾病予防研修費は今後のようにするか。

答 日帰り研修等で今は受講人数も増やしたい。

問 疾病予防費コピー使用料は今までとどう違うか。

答 末吉支所の旧福祉課の位置に国保係が移動したのに伴い、以前は税務課コピー機を使用していたが、支障をきたすようになり新たに設置したので使用料が発生した。

建設経済常任委員会（吉村幸治委員長）

平成19年8月21日～23日に徳島県徳島市・高知県馬路村・高知県日高村にて所管事務調査を行いました。

平成18年度曾於市水道事業会計決算の認定など9件について委員会を開き、慎重に審査した結果、認定1件及び議案4件、請願2件を全会一致で可決し、陳情2件を不採択すべきものと決定しました。

☆所管事務調査

（調査地）

徳島県徳島市・高知県馬路村・高知県日高村

（調査事項）

商工業・観光振興について（みちピカ事業）、農業振興について（ユズ振興）

（日程）

平成19年8月21日～23日

（内容）

徳島市のみちピカ事業は、道路愛護運動の一環として、自主的に事業に参加して道路を清掃し、道路への愛着を持ち、ポイ捨ての抑制美化への関心を高める目的で平成18年度に発足している。参加団体は町内会、企業、

学校等で、平成19年8月現在認定数33団体で、210人だが、目標は70団体2,500人以上にしたいと説明を受けた。

18年度の事業予算は160万円で支援は主に活動必要品の軍手、ほうき、タオル等である。なお本市の財部町で取り組んでいる道美化里親ボランティア活動も早急に市内全域に輪を広げるべきであると思った。

特に気付いたことは、要所にゴミ箱が設置され、ちり一つ落ちておらず、大変気持ちが良かったことである。

馬路村農業協同組合ではゆず振興を調査した。馬路村の人口は1,

平成18年度曾於市水道事業会計決算の認定

問 財部水道・末吉簡水の有収率が低いのはなぜか。

答 財部水道は本管の漏水が原因である。末吉簡水は高岡簡水を末吉簡水に編入した際、既設管内にマンガンが残っており、水道料を一部免除したためである。

問 突発的な事故・漏水等に対して、予備費的な予算を持つべきではないか。

答 以前は場所を決めていなかったが、今は計画に基づく予算であり、予備費的なものは持っていない。漏水等に対しては修繕費で対応している。

平成19年度曾於市一般会計補正予算（第4号）所管分

問 大隅南地区農業構造改善センターのエアコン修理は、夏場の利用を考

えると予備費で早めに対応ができなかったのか。

答 エアコン自体が古く、中古部品がなく期間がかかった。今度壊れた時は新しいものに変えるようにしたい。

問 大川原峡周辺公園整備は、19年から20年度の事業であるが補助事業はないのか。

答 自然環境の事業で、国の補助事業があるので、20年度の採択に向けて取り組んでいきたい。なお現在の計画では芝生がメインで維持管理はトイレが主であると考えている。

問 道の駅すえよし駐車場整備で、駐車台数は何台ぐらいになるか。また市道側に入り口はあるのか。

答 駐車台数は80台ぐらいになる。市道からの出入り口もある。駐車スペースの増で売上を伸ばすためにも本来の地場産の品揃えに努め、集客を図りたい。

問 有機センターの堆肥原料かくはん機修繕が計



大隅菅牟田の災害現場

画されているが、似たような施設の修繕は多いのか。

答 職員が点検等を行っているので、類似施設よりも費用はかかっていないと思う。

問 農道等維持補修費の原材料支給はどこか。

答 末吉分で農道2件、水路3件である。また財部は整備が進んでおり、大隅は別な事業で行っている。

問 道路・施設等の災害復旧で市単独が多かった理由は何か。

答 大隅の12件で、本災害に該当しない60万円未満の災害が8件と、県の査定が非常に厳しくなって事業費は大きい採択にならないのが4件である。



馬路村の加工販売所